

【背くらべ】

「柱のきずは おととしの 五月五日の 背くらべ♪」

この時期になると歌われるこの童謡「背くらべ」をご存じでしょうか。子どもの成長ぶりを測り、柱や壁に身長を記録していく様子はなんとも微笑ましい場面ですよ。

さて、この童謡にちなんで、ここでは背くらべ(長さくらべ)をしたいと思います。背くらべと言っても、人間同士ではありません。進行役が見せる見本にできるだけ近い長さのものをみんなで探すゲームです。



あそんでみよう！

【準備】

- ・見本用のスズランテープ。あらかじめいくつかの長さに切っておく。
- ※荷造りヒモ等で代用可
- ・メジャー(多くあると良い)

【進め方・ルール】

- (1) 進行役が見本のスズランテープを1つ見せて、子どもたちはそれぞれ時間内に同じ長さと思われるものを探し、自分の答えを1つに決める。
※庭の木の幹周でも良いし、本を繋げてそれっぽい長さにしてもOK。
 - (2) 時間になったら一人一人順番に何を選んだのか聞き、テープと長さをくらべる。
 - (3) 一番長さが近かった人が勝ち。(勝敗を決めなくても良い)
 - (4) 次に子どもたちにメジャーを渡して、自分の身体のいろんな部位の長さを自由に測ってもらう。
 - (5) その後、別の長さのスズランテープで第2回戦を行う。この時、スズランテープの長さを具体的な数値でヒントとして教えてあげる。
 - (6) 自分の身体と比べたりしながら、今度はさっきより長さが近いものを探せたかな？
- ※人数が多い場合はグループ戦にすると良い。その場合は、最後に50m等長い距離をお題にすると、各グループに差が出て盛り上がる。

